

努力と挑戦

～松本南海雄氏「20歳のころ」～

【B班】井口・木田・齋藤・林

①なぜマツモトキヨシを選んだのか？

『学部数が日本一、そして卒業生も日本一の日本大学出身者で、社会で活躍している人々は、たくさんいるはずだ!!』これが私達の第一歩でした。次に、誰もが知っている会社の経営者を見つけることです。やはり身近な会社であればあるほど私たちは調べやすいからです。そこで浮かび上がってきたのが(株)マツモトキヨシの現社長、松本南海雄氏でした。“マツキヨ”という愛称がある時点で条件をクリアしていたからです。最後の決め手となったのは、創業者である松本清氏の基本理念「良い品をより安く」「お客様第一」「親切なお店」この3つを現在まで、しっかりと受け継がれている“まごころ 70 年”というモットーに強く感銘を受けたからです。

②プロフィール

(株)マツモトキヨシの現社長である松本南海雄氏は、1943 年 3 月 4 日に創業者である松本清氏の次男として、千葉県松戸市に誕生しました。

③経歴

南海雄社長は、千葉県で進学校として有名な県立東葛飾高校を 1962 年に卒業後、日本大学理工学部薬学科(現在の薬学部)に入学、1966 年に大学卒業、(株)マツモトキヨシに入社、一店員としてスタートをきった後に 10 店舗以上の店長を経験し、独自にスーパーマーケットの開発もしました。当初は築地に魚を仕入れに行かれ、魚のさばき方まで自ら教わりに行かれたそうです。それから新松戸幼稚園の創設やスポーツクラブを開設するなど南海雄社長の起業力は誰にも止めることができませんでした。2001 年にマツモトキヨシの社長に就任、それぞれの事業を更なる発展へと導き、現在では全国ドラッグストアチェーン協会の会長を勤めています。

④インタビュー内容

Q1.急な進路変更について？

南海雄社長は高校 3 年に文系から理系という大きな進路変更をしています。次男であった南海雄社長は、前々から長男が跡継ぎだと決まっていたため文系クラスに在籍していました。しかし、長男である兄が女性との交際を先代に大きく反対されたために駆け落ちしてしまったのです。ここで急遽、先代から「家業を継いでくれ！」と頼まれた南海雄社長は、昔から数学が得意でもあったために高校 3 年の夏で理系への進路変更を決意したのです。→A1.兄の駆け落ち

Q2.大学生活をどのように送っていたのか？

1 年、2 年は 1 番に遊んだ時期だと言います。「南の海の雄」と名前負けしないほど海が大好きで、休日には愛車でドライブを楽しむなどアクティブに過ごしていました。しかし、楽しいことばかりではありません。周りの友達が落第してしまったのです。薬剤師を志すことは簡単なことではないと気付かされた南海雄社長は非常に苦戦しました。3 年、4 年そして国家試験に合格するまでは必死の思いをしました。しか

し交友関係は何よりも大切にしたいそうです。→A2.仲間を大切に遊びと勉強を両立

Q3.社長が求めている人材とは？

「仕事が好きな奴にはかなわない。」という先代の言葉が今でも南海雄社長の中で生きています。『どんなに自分より学歴が上な者がいても、その人より仕事を好きになってしまえば、取り組む姿勢に差が出てくる。失敗はあつて当たり前。結果は気にせず挑戦なさい。』南海雄社長は仕事を楽しむぐらい好きになれば、どんな職業でも自然と結果は追いついてくるものなのだと教えてくれました。→A3.仕事が好きな人

Q4.経営するにあたって大切なことは何か？

最も大切なことは、どれだけ顧客に満足してもらえる経営をしていくのかということです。南海雄社長は、他のドラッグストアーに比べ低価格を目指し、豊富な品揃えを徹底する、そして何よりお客様に親しみをもってもらい、気軽に入れるような庶民的なお店作りを心がけているそうです。→A4.第一に、お客様を考える

Q5.座右の銘

南海雄社長は満面の笑みで答えてくれました。自分に自信をつける方法は努力によって得ることができると。最近の若者は何に対しても消極的になってきているといいます。先を恐れず挑戦をするということは人生の勝ち組において誰もが共通していえることなのだと思います。日進月歩、少しずつ何事も前向きに取り組み、日々努力していくことで自信を得られ、新しい結果を生むことができるのだと教わりました。→A5.努力に勝る才能なし

⑤インタビューを終えて

私たちは2週間以上に及ぶ交渉の末、やっとの思いで2月16日、南海雄社長へのインタビューに成功しました。南海雄社長は、とても温厚な素晴らしい方でした。今回のテーマ「20歳のころ」を調査した後、話し合いを重ねることによって私たちが学び得たことは、たくさんあります。

一に、今こそ多くの友達をつくるとき!!社会に出てしまうと、どうしても会社の利害関係などが先考してしまいます。自由に過ごせる学生生活で、いかに視野を広げていくのか。できる限り多くの人たちと関わっていくことが自分の考えを広げていく大きなチャンスなのです。

二に、多趣味になれ!!若いうちからスポーツや郊外活動を多く経験することで人生の楽しみを広げることができます。就職して限られた休日に、何もすることなく家にいるのではなく、多くの趣味を持続していくことが大切です。ONとOFFのケジメをしっかりとつけるということです。

三に、好きになれる職種を見つける!!どんなに真面目で出来る人でも仕事を好きな人には負ける。つまり自分が好きになれる仕事に就くことが1番だということです。そのためには今諦めることなく、無駄に過ごさず、努力を絶やさずに過ごしていくということです。

四に、結果を気にせずトライ!!将来のキャリアに向けて準備するため、まず今から1番に大切にすることは取り組む姿勢です。学生生活の大半は親に頼ってばかりです。しかし社会に出るということは、いつか必ず親離れしなければならないということ。20歳という大きな節目の時期から少しずつ経済的にも精神的にも自立をしていかなければいけません。失敗を恐れては成功の道に突き進むことはできません。

⑥最後に…

こんな素晴らしい企画を与えてくれた加藤恭子先生、ゼミの先輩方ありがとうございました。そして協力してくださった松本南海雄社長と㈱マツモトキヨシの皆様、本当に感謝しています。今回の出会いと学んだことを決して忘れることなく、自分たちの 20 代を大切に築いていこうと思います。